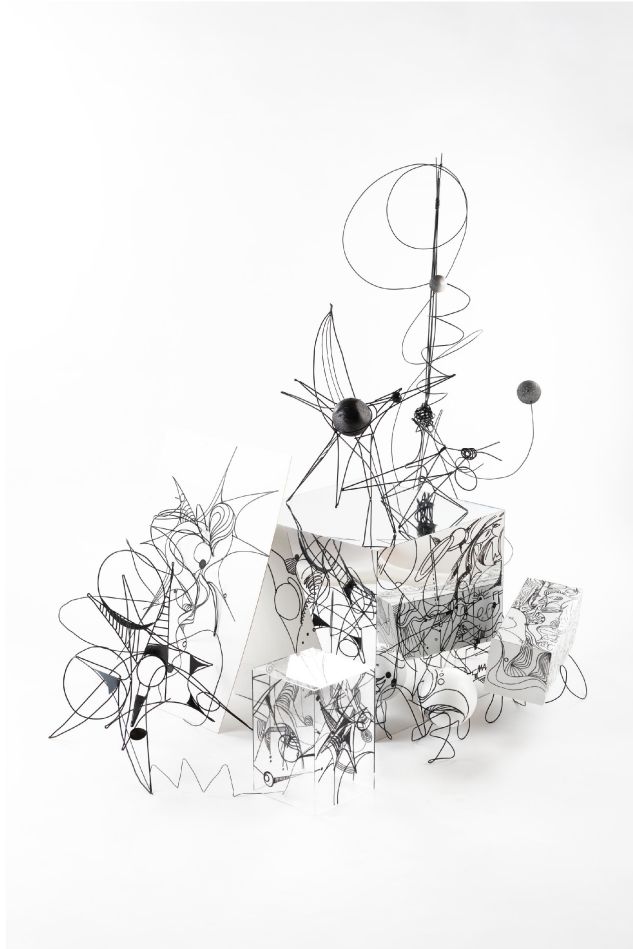
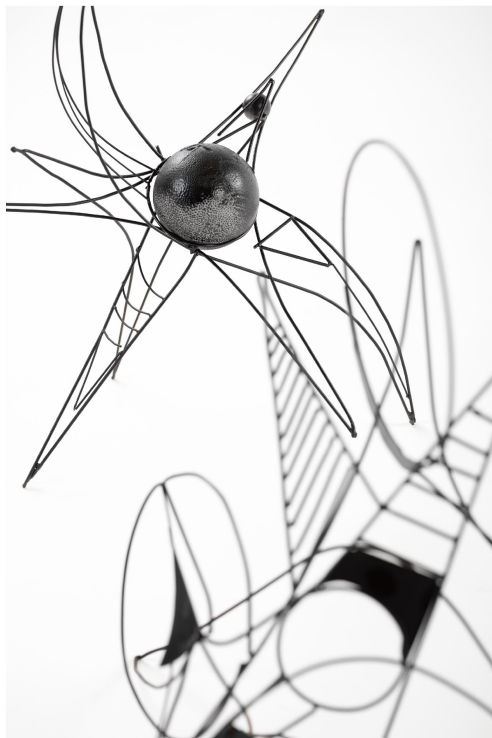


周 博言
ZHOU Boyan



うみたがり
金属、アクリル



うみがたり

この作品は、無意識の落書きの研究に基づいています。

私は子供の頃から線に興味を持ち始まり、壁に落書きをしてきた。描かれた無意味な線は私の人生の活力を反映した実存的な意味を持つものである。

心理学者フランソワ・サージは次のように述べています。グラフィティはストレスや感情から私たちを解放してくれます。グラフィティは直接的な内面のアイデアを明らかにします。

ボン心理学研究所のドイツ人専門家は、電話や会議中の人々の余分な行動を1年間観察し、電話をかけた人の3分の2と会議に出席した人の半分が小さな紙に書いていることを発見しました。小さな数字を描く。心理学者は何人かの「画家」をテストし、彼らが紙に落書きしたものが彼らの性格と習慣を本当に反映していることを発見しました。

ロシア人間開発センターの研究者で心理学の博士号を持つ Lenata Berkova は、これらの抽象画は実際には人の内面の考えを反映している可能性があるコメントしました。本質的に、それは潜在意識の表現です。

私にとっての線の意味を見つけたいです。これらの線は、考えているとき、友人と電話で話しているとき、眠れないときなど、私の人生のさまざまなシーンから来ています。...。それらは私の時間に意味を与えます。それらはただそれらの紙切れに存在するべきではないと思います、それらは私の一部であり、それらは生きており、それらは私から生まれました。

3D と 2D の違いは、3D での存在は、肉眼で見える 2D の存在よりも複雑であることです。いつになっても、2D の生命は必ずしも現実であるとは限らず、いくつかの特別な法則に依存することができますが、私たちは三次元の世界に存在し、その「法則」を打ち破りたいと願っています。